

SARS-CoV-2(新型コロナ)ワクチン「ヌバキソビッド®」接種のご案内

2025/10/22

蛋白質サブユニット型ワクチン ヌバキソビッド®筋注 の接種を下記のとおり実施します。

ワクチンの特徴：組換えスパイク蛋白+アジュバント（Matrix-M）を用いた不活化系プラットフォームの一種で、mRNA ではありません。2025/26 シーズンは LP.8.1 系統に対応した製剤が各国で承認されています。

接種期間： 2025 年 11 月 5 日 ～ 2026 年 1 月 31 日の
月曜・水曜・土曜日(祝祭日除く)
15:00～15:30

接種料金： 熊谷市公費(65 歳以上・その他)； ￥6,000.-
※その他県内乗り入れあり
任意接種(自費)； ￥15,400.-(税込)

予約開始日：2025 年 11 月 1 日(土曜日)から
14：00 ～ 15：00 の時間帯専用ダイヤルにて

予約方法： コロナワクチン接種予約専用ダイヤル
070-1559-9077
担当部署：庶務課

以上

2種類の新型コロナワクチンの違いについて

新型コロナウイルス感染症に対する代表的なワクチンとしてファイザー社製の「コミナティ」および武田薬品・ノババックス社製の「ヌバキソビッド」の2種類があります。これらは新型コロナウイルスに対する免疫をつける仕組みが異なるワクチンであり、それぞれに特徴があります。今年度当院で接種可能なワクチンは、「ヌバキソビッド」になります。

●ワクチンの原理について

ウイルスに対する免疫をつけるには、ウイルスの「顔」を身体に覚えさせる必要があります。この「顔」を覚えさせるためにウイルスという指名手配犯の貼紙を作る仕組みが、2つのワクチンで異なります。どちらも「スパイクタンパク」というウイルスの極一部を指名手配犯の貼紙として使用しています。指名手配犯には鼻や目に特徴があったりしますが、コロナウイルスの場合はスパイクタンパクに特徴があるのです。

▲ コミナティ（mRNA ワクチン）

これまで新型コロナウイルスワクチンとして使用されていたものです。 mRNA ワクチンはスパイクタンパクの設計図（mRNA）を身体に注射し、身体の中のタンパク質工場でスパイクタンパクを作ります。免疫を担当する細胞がこれを認識して免疫を獲得する仕組みです。mRNA は数日で分解されスパイクタンパクを際限なく作ることはありません。

▲ ヌバキソビッド（不活化ワクチン）

厳密には「組換えタンパクワクチン」という種類のワクチンです。これまで新型コロナウイルスワクチンとして使用されていたものとは仕組みが異なりますが、B型肝炎や帯状疱疹に対するワクチンとして使用されています。こちらは身体の外で作成されたスパイクタンパク自体を注射することで免疫を獲得する仕組みです。スパイクタンパクと一緒に、免疫を賦活する（ムチを打つ）物質と一緒に投与されます。

●ワクチンの効果について

2つのワクチンで統計学的に差がないことが示されています。効果の持続期間に関して、ヌバキソビッドが長いのでは・・・という情報もあります。

●ワクチンの副反応について

コミナティの接種後は、注射した部位の痛みや腫れに加え、発熱・だるさ・筋肉痛・頭痛などの全身性の副反応が、概ね 60%の方に出現します。 それに対してヌバキソビッドでは、全身性の副

反応が少ないと報告されています。ワクチンを2回接種済みの20-64歳の方へ又バキソビッドを追加接種した場合、発熱は10%未満、だるさは30%程度でした。注射した部位の痛みなどは又バキソビッドでも70%以上の方で出現します。

●今年度の当院では、副反応の割合等も含め接種コロナワクチンは、「又バキソビッド筋注」を選択させていただきます。
宜しくお願いいたします。

医療法人藤和会藤間病院